

令和 7年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：薬務課
 担当名：販売指導
 内線：3622

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
S105	薬務許認可業務DX推進事業費			一般会計	衛生費	医薬費	薬務費	薬事監視指導費		
事業期間	令和 7年度～	根拠法令	医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律	針路		03	介護・医療体制の充実		SDGsゴール 3	
				分野施策		0305	医薬品などの適正使用の推進		SDGsターゲット 3-8	
1 事業概要 薬局等許認可に係る事業者の申請・届出を電子化し、かつその申請・届出データをシステム内で一括に管理できる新たなシステムを開発し、導入することで事業者の窓口への来所の負担をなくすとともに業務効率を大幅に向上させることで、保健衛生の要となる監視業務を強化する。 併せて、調査用タブレットを購入し、薬局等の現地調査の効率化を図る。 ア 電子申請薬事システムの新規導入 △2,753千円 イ 調査用タブレットの導入 △3,336千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 電子申請薬事システムの新規導入 13,388千円→10,635千円 事業者からの来所せずに手続きできないかなどの要望を解決するため、申請、届出、手数料納付が原則、来所不要で完結できるシステムを構築する。(令和7年8月に契約の締結及び開発を開始し、令和8年3月の運用開始を予定) 構築したシステムの保守業務委託 1,899千円 申請受付用のパソコンのリース(19台5年リース) 1,996千円→101千円 イ 調査用タブレットの導入 3,992千円→656千円 事業者施設に立入調査をする際に調査用タブレットを導入することにより、調査の効率化を図ることができるため、監視精度の向上につなげるとともに持ち出し資料を電子化する。 (2) 事業計画 ア 令和7年8月に契約の締結及び開発を開始し、令和8年3月の運用開始を予定 イ 申請受付用パソコン、調査用タブレットのリース契約を令和7年度中に締結 (3) 事業効果 【活動指標(アウトプット)】 ・申請受付業務の電子化により対応時間の短縮(1保健所あたり月24時間の短縮) ・調査資料の電子化によるペーパーレス化(年間12,400枚の印刷量の削減) ・調査時の業務を効率化することができる。 【成果指標(アウトカム)】 県民(事業者)の利便性が向上するとともに医薬品の安全が確保され、県民が安心して医薬品を使用することができる。 (4) 補正予算の概要 ア 電子申請薬事システムの新規導入の委託料等執行残 △2,753千円 イ 調査用タブレットの導入のリース執行残 △3,336千円						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.8人=7,600千円										
予算額		財源内訳							一般財源	補正後の 予算額
		県債								
決定額	△6,089	△2,000						△4,089	11,291	
現計額	17,380	9,000						8,380		

事業内訳書

事業名	薬務許認可業務DX推進事業費		
単位事業名	電子申請薬事システムの新規導入	予算額	△ 2,753千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
県債・衛生債	△2,000	—	薬務電子申請システム整備事業債
一般財源	△753	—	
合計	△2,753	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	△858	—	入札差金による減
使用料及び賃借料	△1,895	—	年度途中からのリースのため契約開始が遅れたことによる入札差金による減
合計	△2,753	—	

単位事業名	調査用タブレットの導入	予算額	△ 3,336千円
-------	-------------	-----	-----------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△3,336	—	
合計	△3,336	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
使用料及び賃借料	△3,336	—	年度途中からのリースのため契約開始が遅れたことによる入札差金による減
合計	△3,336	—	